

令和3年度 三船小学校グランドデザイン

校訓 「よく学び 心豊かに たくましく」

始良市の教育の目標〔自立〕

ふるさとを愛し
未来を切り開く
心豊かでたくましい人づくり

学校教育目標 自立 貢献

キャッチフレーズ

あいさつとやさしさ あふれる学校

令和3年度重点課題

- 1 社会に開かれた教育課程の実現
- 2 主体的・対話的で深い学び
- 3 カリキュラムマネジメントの推進

めざす子供像

- ア 確かな学力と技能を身に付け、自ら考え判断し表現する子供
- イ 豊かな心を持ち、礼儀正しい子供
- ウ 健康・体力づくりに励み、あきらめずにやりぬく子供

めざす学校像

- ア 活力と風格を備え、安心・安全で美しく整えられた魅力ある学校
- イ 輝く時や場が設定され、自分の存在や役割を実感できる学校
- ウ 保護者や地域の信頼に応え、責任を果たす学校

めざす教師像

- ア 授業を大事にし、研究と修養に努め、絶えず学び続ける教師
- イ 教育者としての誇りと使命感を持ち、信頼される教師
- ウ 人権意識を持って子供に接し、そのよさや可能性を伸ばす教師

実践事項

心豊かに

【児童の仲間意識を高める】 一事徹底(揃える)

- ア 生徒指導の充実
 - 語先後礼・3分前集合・靴並べ
 - 新規不登校児0
 - 学校調査「学校が楽しい」「あてはまる」を60%以上
- イ 道徳教育・道徳科の充実
 - 別業に則った道徳教育の推進
 - 保護者授業参観の実施
- ウ 特別活動の充実
 - 児童自ら活動する係・委員会・緑化活動の充実
 - 異年齢集団活動への積極的取組と清掃指導の充実
- エ 本好きな児童の育成
 - 個人目標冊数の設定と達成(低:100冊 中:80冊 高:70冊)
 - 読み聞かせの実施
 - 親子読書の推進(毎月23日)
- オ 人権同和教育の充実
 - 「くん・さん」付け呼名の徹底
 - 人権教室の実施
 - 計画的な校外研修会への参加

よく学び

【児童の知的好奇心を満足させる】 45分間で完結し子供自ら考える授業

- ア 「分かる・できる」授業実践
 - 「教師が教える」から「子供が学ぶ」授業への転換
 - 定着の時間の確保(ラスト10分)
 - 学習のしつけの共通実践
 - 単元・期末テスト平均85点以上
 - 構造的な授業ノートづくり
 - アンダーアチーバー0
 - GIGAスクールの推進
- イ 言語能力の育成
 - 字数制限文・要約文の作成
 - 各種コンクールへの積極的参加
 - 読むこと、書くことの徹底した反復指導
 - 発表する場の意図的設定
- ウ 特別支援教育の充実
 - 全校態勢による支援
 - 特別支援教育の計画的な研修
 - 適正な就学指導(就学指導委員会の充実)
- エ 校内研修の充実
 - 授業を通じた実践研究(一人一授業提供)
 - 校外研修会等への計画的参加
- オ 家庭学習の充実
 - 自主学习ノートへの取り組み
 - 学習時間の確保[40分, 60分, 90分]
 - 家読15分以上の実践

たくましく

【児童の心身を鍛える】 自ら考えチャレンジする

- ア 年間を通じた体力・気力づくり
 - 一校一運動の推進(カード)
 - 遊びを通じた体力づくり
 - チャレンジかごしまベスト10への挑戦
- イ 保健・安全・給食指導の徹底
 - 校内外の定期的な安全点検
 - 専門人材の積極的活用
 - 食農教育の推進
- ウ 家庭との連携
 - 基本的な生活習慣の確立(眠育の取組)
 - う歯治療率80%以上

三者連携

【児童をみんなで見守る】 見守り活動の強化

- ア PTA活動の充実
 - メディアとの適切な関わりと睡眠
 - 計画的な教育相談の実施
 - 「子育て基本条例」の徹底
- イ 開かれた学校づくりの推進
 - 地域の人材・素材の活用
 - ブログ・学校だより等の情報発信
- ウ 各種関係機関との連携
 - 情報交換、情報収集

帖佐中ブロック共通実践事項

- 学習の構えの確立 ・授業前の黙想 ・体を向けて聴く ・肘を伸ばした挙手 ・「はい」の返事 ・宿題忘れゼロ ・背筋を伸ばし書く
 - 学習環境の整備 ・学習で使うものだけ机に準備 ・机の中とカバン棚の整理 ・移動時の机イスの整理
 - 家庭学習の習慣化 ・低学年40分, 中学年60分, 高学年90分以上の確保 ・テレビ, スマホなしの静かな環境での学習
- ※ 生活のリズムを整え、睡眠時間を確保し、宿題をしっかりとる習慣づけを行う。

評価

- 自己評価 ○ 児童・保護者アンケート ○ 教職員評価 ○ 学校関係者評価 ○ 調査等

業務改善の推進 ～質の高い教育を持続・発展させるために～

○業務の簡素化

学校組織や教育活動のあり方を見直し、教員が本来担うべき業務に専念できるよう適正化を図る。

○業務の効率化

管理職や教職員を対象にした研修の実施や外部人材等の活用により、学校における教育の質の向上を図る。

○業務改善の意識化

管理職による勤務時間管理の徹底と教職員一人一人の意識改革の推進を図り、業務改善への認識を社会全体で共有する。